

## 宇都宮市における施策の展開方向について

宇都宮の人づくりを具現化するためには、市民一人一人が家庭や地域、幼稚園、保育所、学校、企業、行政などに支えられながら、基本目標をより具体化した各ライフステージ別目標に段階的に取り組んでいくことが重要であり、その環境などを整備することが行政の大きな役割と考えられます。

ここでは、市民が積極的にそれぞれの目標実現に取り組めるようにするため、長期的な視点から宇都宮市が取り組む施策の方向性を示すものです。



# 1 基本的な考え方

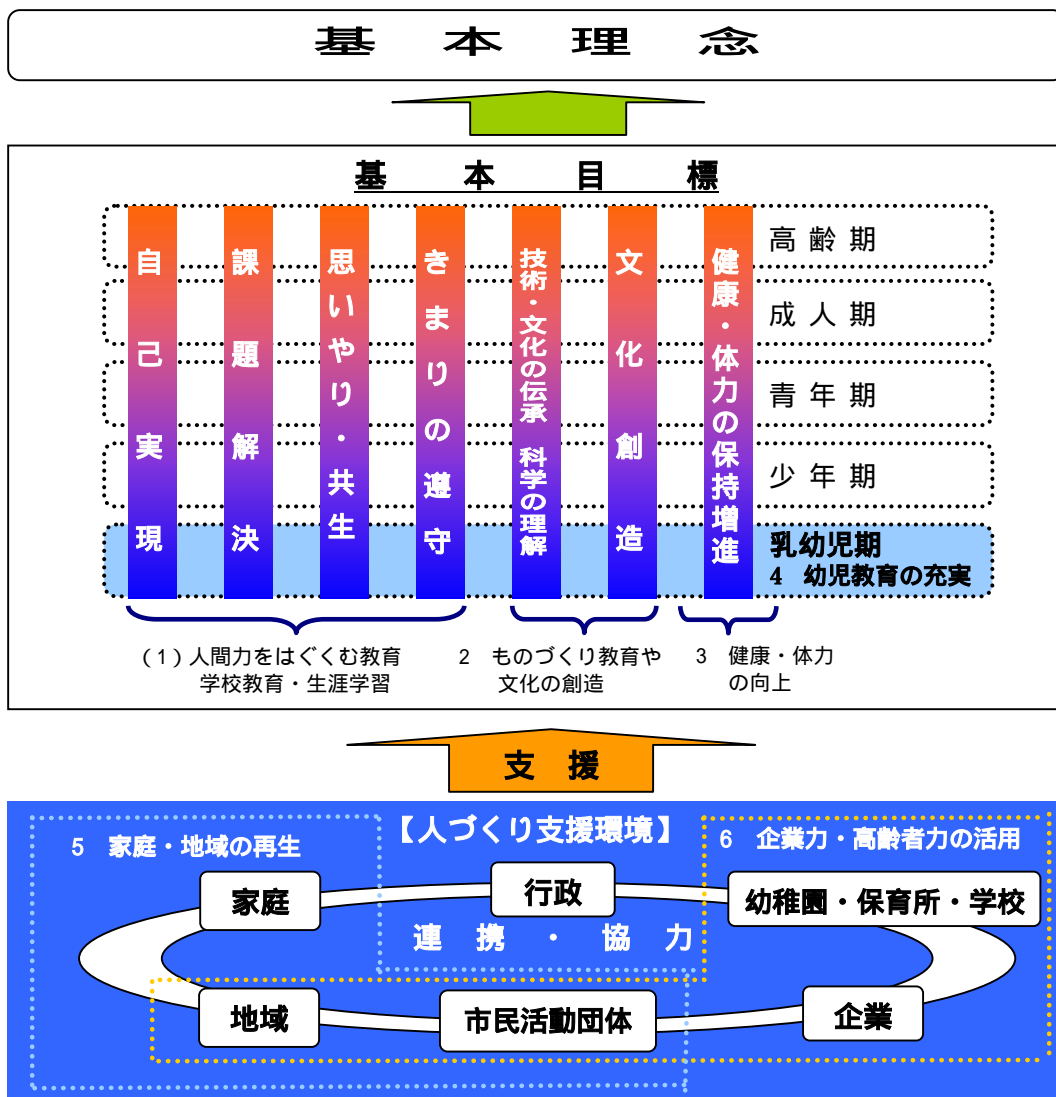
基本理念を実現するためには、市民一人一人が基本目標へ効果的に取り組めるようにするとともに、その支援体制を確立する視点が重要です。この2つの視点から、今後行政が主体的に市民とともに取り組む施策の方向性を設定しました。

## (1) 市民一人一人が基本目標へ効果的に取り組むために

基本目標の効果的な推進のためには、それぞれの目標との関連を図るとともに、相乗効果が期待できるものは一体的に取り組んでいく必要があります。このため、基本目標から「1 人間力をはぐくむ教育」「2 ものづくり教育や文化の創造」「3 健康・体力の向上」の3つを設定しました。また、人格形成の基盤となる乳幼児期の人づくりを基本目標の根底に据え「4 幼児教育の充実」として重点的に取り組みます。

## (2) 人づくりの支援体制を確立するために

市民一人一人が基本目標の実現に向けて取り組むには、その環境整備が重要です。そこで、機能の低下が心配されている「5 家庭・地域の再生」と新たな人づくり支援体制として「6 企業力・高齢者力の活用」の人づくり環境の整備に取り組みます。



## 【市民一人一人が基本目標へ効果的に取り組めるために】

### <1>人間力をはぐくむ教育

21世紀をたくましく生きるためには、自己の内面をはぐくむとともに、自己の気づきや学びを多くの人に伝え、明るい豊かな社会の創造に寄与する人間力が重要です。このため、学校と社会教育を一体とした教育の推進に努めます。

### <2>ものづくり教育や文化の創造

創造力は、21世紀社会を生き抜くために重要な能力であり、その育成には、ものづくり教育や文化活動は極めて有効な手段です。このため、市民相互がそれぞれの持っている知識や技能を教えあう、ものづくり教育や文化活動の推進に努めます。

### <3>健康・体力の向上

人の幸せの基本は、もって生まれた健康や体力を保持増進することです。このため、スポーツやレクリエーション活動を積極的に推進するとともに、「食」を通じた自己管理能力の育成に努めます。

### <4>心と体の根っこをはぐくむ

#### 幼児教育の充実

幼児期は、将来にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期であり、すべての基本目標の根底となるものです。

幼児教育では、幼稚園・保育所の教育を中心に、心の通い合う家庭教育や地域活動を通じた教育の充実に努めます。

## 【人づくりの支援体制を確立するために】

### <5>あつたか家庭・地域再生

充実した人づくりを展開するためには、家庭や地域、幼稚園・学校などがそれぞれの機能を果たしながら連携協力することが必要です。このため、その機能の低下が指摘されている家庭や地域の教育力の再生に努めます。

### <6>企業力・高齢者力の活用

より総合的・実践的な教育を展開するためには、優れた識見を持つ高齢者力や企業力を教育に取り入れることが必要です。このため、企業や高齢者の力を積極的に活用できる仕組みづくりに努めます。

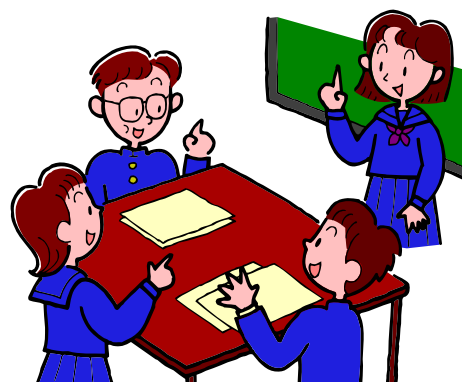
## 2 各施策の方向

### < 1 > 人間力をはぐくむ教育

21世紀社会を生き抜くためには、自己の内面をはぐくみ、かつ、自分自身だけの成長にとどまることなく、その気づきや学びを多くの人に伝え、さらには、明るい豊かな社会の創造に寄与する力が重要です。このビジョンでは、これを「人間力」とし、学校教育と社会教育を一体的に推進しながら育成することを目指します。

#### 1 一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性をはぐくむ小中学校教育の推進

学校は、専門的な人や物を活用して最も組織的・計画的に教育を行うところであり、同年齢や異年齢の子どもたちが触れ合い、人間形成の基礎・基本を共通に修得する重要な役割を担っております。



このような観点から、学力の向上に向けた教育や命を大切にし他と共生するための豊かな人間性を育成する教育を充実させるとともに、子ども一人一人が持っている可能性を最大限に引き出し伸ばす教育のシステムを構築します。

#### 2 いつでもどこでも学べる教育システムの構築

雇用形態の変化や価値観の多様化などから、市民の教育に対するニーズは一層拡大しています。また、高齢者の優れた英知を活用する視点からも、市民一人一人が「学びたい」「自分の知識、経験を生かしたい」と感じた時に、いつでもどこでも「学び」「教える」ことができる教育システムの構築に努めます。

#### 3 キャリア教育<sup>(注20)</sup>の促進

「働く」ことは、人が社会とかかわりながら生きる上で欠かせない営みです。その背景にあるものが、一人一人のもつ勤労観や職業観であり、個人の自己実現はもとより社会経済の発展にも大きな影響を及ぼす重要な問題です。

このような観点から、豊かな職業観や勤労観を身に付けるため、小学校から大学までの教育内容の充実促進や職業体験、職場見学、就業体験などの体験学習の促進に努めます。

(注20) **キャリア教育** 学校教育と職業生活との円滑な接続を図るため、望ましい職業観、勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせると共に、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育。

## < 2 > ものづくり教育や文化の創造

文化を大切にすることなどの豊かな人間性や市民が求める創造性をはぐくむため、市民が世代を超え、それぞれのもっている知識や技術を互いに教え合うものづくり教育や文化創造活動の促進に努めます。

### 1 「創造性」をはぐくむものづくり教育の促進

ものづくりは、知恵や技術を結集し形あるものを作り出す行動であり、創造力を育成するために極めて重要なものです。また、豊かな職業観や勤労観の基礎を培い、産業界を支える人づくりを推進する上でも欠くことのできない活動です。



このような観点から、確かな職業観や勤労観を身に付けるために、小学校から大学までの教育内容の充実促進や職業体験、職場見学、就業体験などの職業教育の積極的推進、若年者の雇用問題（フリーター、ニート等）や企業の求める人材とのミスマッチ<sup>注21)</sup> 解消に努めます。

### 2 文化活動の振興

文化活動は、創造性をはぐくむとともに、心の豊かさを生む重要な活動です。このため、新しい文化の創造に努め、自国文化理解や異文化理解、異文化共生の基礎を培うことが重要です。

このような観点から、文化活動の裾野を広げる鑑賞・発表・学習機会の充実、文化を広める文化情報提供・発信の充実、次代へつなげる生活文化の継承などに努めます。

### 3 文化振興の基盤の整備

市民が生涯を通じて、文化活動の分野で自主的に活動し、個性を伸ばし、能力を発揮できる環境づくりが必要です。

このような観点から、文化活動の充実を図る文化施設の整備、文化財の保護・活用の推進、文化活動をリードする人材の育成や文化団体・ボランティア組織の支援などに努めます。

---

注21) **ミスマッチ** ここでは、自分の求めている職種と雇用先が求めている職種がずれていること。

### < 3 > 健康・体力の向上

市民の健康・体力の維持増進，生きがいづくりを支援するため，健康づくりやスポーツ・レクリエーション活動に親しむ環境づくりを推進します。また体力の低下や生活習慣病を予防するため，食生活を通じた自己管理能力の育成を目指します。

#### 1 健康づくりの普及・啓発と市民の主体的な健康づくりへの支援

市民が生涯にわたって健康な生活を送り，安心して暮らすことができる環境づくりが重要です。

そのような観点から，健康づくりの普及・啓発などに努め，市民の主体的な健康づくりや地域による健康づくりのための実践活動を支援します。



#### 2 市民一人一人が生涯にわたってスポーツ・レクリエーションに親しめる生涯スポーツの推進

市民が，それぞれの年齢や体力，目的に応じ，生涯にわたってスポーツ・レクリエーションに親しめる生涯スポーツを推進していくことが重要です。

そのために，市民が，主体的に「スポーツに親しみたい」と思う「スポーツ心」をはぐくみ，支えていく環境づくりに取り組みます。

#### 3 「食」を通じた自己管理能力の育成

食生活は体の発達を促すだけでなく，心の育成や社会性の涵養にも密接にかかわっており，食に関する年齢に応じた自己管理能力を育成することは，大変重要なことです。

このような観点から，ライフステージごとに「食」を通じた健康管理の意識を啓発するとともに，その基礎を培う学校給食では，地産地消（注22）の活用や各教科等との関連を図ったりしながら，「食」に関する指導の充実に努めます。

---

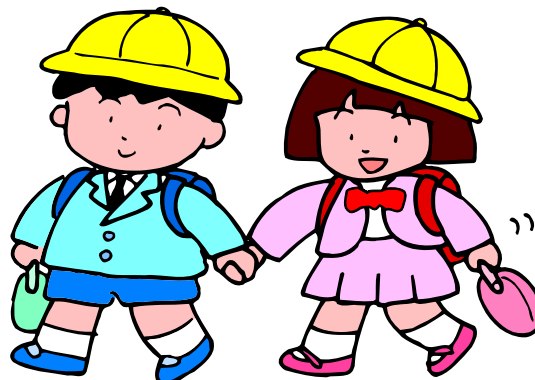
注22) **地産地消** その土地で生産された農畜産物をその土地で消費すること。

## < 4 > 心と体の根っこをはぐくむ幼児教育の充実

生涯にわたる人間形成の基礎を培う乳幼児期の教育を，家庭，地域，幼稚園・保育所などが連携協力して推進することを目指します。

### 1 保育所や幼稚園の教育の充実

幼稚園や保育所は，福祉と教育という制度的な違いはあるものの，本市の子どもたちの多くが入園入所して，集団生活を営みながら社会性や生きる力の基礎を身に付ける重要な場です。



このような観点から，教員や保育士の資質向上に向けた研修や幼保小連携事業の充実，幼稚園・保育所を活用した相談体制の確立，就園奨励などに努めます。また，現在，国において検討が進められている総合施設の有効性や本市の実情にあった各施設のあり方等を踏まえながら，充実した教育と保育を一体的に行える幼稚園，保育所づくりの検討に努めます。

### 2 体験活動や異年齢交流活動の充実

自然体験や動植物との触れ合い体験などを通して，感動する心や命の大切さをはぐくんだり，年齢の異なる子どもや地域の大人との交流により，集団への適応力や人間関係形成力を身に付けさせたりすることは，今後ますます重要になってきます。

このような観点から，幼稚園や保育所，地域等において，乳幼児期の子どもたちが参加できる交流活動や自然体験活動の充実に努めるとともに，社会とのかかわりを自覚させるためボランティア活動も推進します。

### 3 子育て支援の推進

多くの保護者が，子育ての悩みを持っていることから，子育て情報の提供や専門相談員による相談が可能な仕組みを地域に構築します。

さらに，家庭，地域，幼稚園・保育所等が連携協力して子育て支援ができるよう，子育て支援ネットワークの整備に努めます。

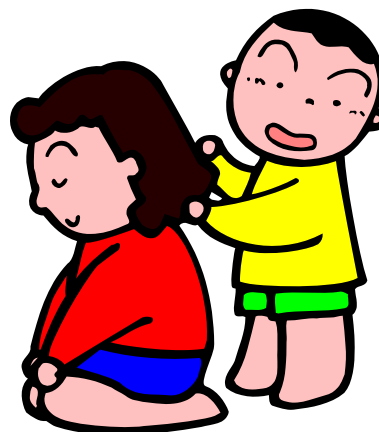
## < 5 > あったか家庭・地域再生

家庭や地域の形態や組織，意識等の変化により，低下しつつある家庭や地域の教育力の再生を目指します。

### 1 温かな家庭づくり推進

家族をつなぐものは，温かな愛情であり，このことは将来的にも変わることはありません。

この愛情あふれる家庭を実現するために，家庭の活力を向上させる事業の推進を図るとともに，保護者が子育てに十分に時間を確保できるような就労体制の支援，子育て支援（相談，ふれあい体験等充実）の推進に努めます。



### 2 地域や市民活動による子育て支援推進

子どもから見て地域は，保護者と異なる価値観をもつ大人や異年齢の友達と触れ合う重要な場です。このような場での活動を通して，物事の考え方の広がりや考えの違う人々とうまくやっていける力を身に付けることが重要です。

このような観点から，地域で子どもを育てる仕組みや家庭を支援する仕組みを構築するとともに，市民活動の活性化に努めます。

### 3 家庭，地域ネットワーク構築

家庭や地域がそれぞれの役割を十分に果たすためには，目標や情報の共有化が不可欠です。

このような観点から，子育てや教育に関する情報，相談に関するネットワークの構築を支援します。



## < 6 > 企業力・高齢者力の活用

宇都宮市が潜在的に持っている企業力，高齢者力の組織的な活用を目指します。

### 1 市民の自己実現をサポートする企業内環境づくり

市民が生涯を通じて学び続け主体的に行動していくには，勤務する企業の支援協力が重要です。

そのために，企業と連携協力し，市民の自己実現に向けた取組の推進や人づくりをサポートする企業内の職場環境づくりの促進に努めます。



### 2 企業の子育てサポートの推進と社会体験活動や職業教育協力体制の構築

家庭や地域，学校等がそれぞれの役割を十分に果たすためには，保護者の積極的な参加が極めて重要です。このような観点から，企業と十分に連携し，保護者が家庭や地域，学校等で積極的に活動ができるよう，支援に努めます。

また，企業には学校で体験できない特性を持っており，子どもたちに自己の生き方や働く意義について考えさせる極めて有効な場であることから，小・中・高校生の適切な社会体験活動や就業体験などに協力できる体制を構築します。

### 3 高齢者力を活用した施策の推進

高齢者は，長年培った知恵や経験，技術を有しており，高齢者の能力を活用した人づくりの取組が重要となります。

そのため，今後は，高齢者と連携協力し，高齢者力を活用した学校教育活動，青少年健全育成，子育て支援活動などの施策を推進します。